

八木京子さん (54歳) ●「(株)アイナース」経営

33年間の病院勤務を辞め、 患者のための訪問看護で起業

看護の「看」の字の形を見ていただき
きたい。

「看護とは、「目」で見て「手」で触っ
て差し上げることなんですよ」と言う
のは、八木京子さん。この8月、訪問看
護の事業所を、東京・神保町に立ち上
げた。

同大では、今年の10月からシニア大学
院制度を始めた。出願時に申請すれば最
長4年で修士号が取れる。学費は2年分を
年割りした額でマイペースで研究できる。
会社勤めをしながら、大学院進学を視野
に入れ、「まずはシニア研究生」として入
学する人もいる。

選考方法は、出願時に研究計画書を提

「病棟で、患者さんの話をじっくり聞い
てあげる、触ってあげる、そんな看護を
したいと、常に思っていました」

いくつもの診療科を経験し、看護の
現場で33年間、働き続けた大ベテラン
である。だが、現場では、医師の指示の
もと、思うような看護ができないという

出、現代法学研究科以外の3つの研究科
では、同研究書を基に課題レポートを課
し、出願後に提出する。これと面接で合
否が決まる。筆記試験はない。

退職後に「学ぶ」ことを選ぶシニア層
が、今後、増えていくものと思われる。団
塊世代の大量退職は、学問の世界も変え
つつあるようだ。

図表 ■ 東京経済大学シニア大学院の募集要項 (07年4月入学の場合)

- ①シニア大学院 募集研究科(修士)課程・募集人員
 - ・経済学研究科 若干名 ・経営学研究科 若干名
 - ・コミュニケーション学研究科 若干名
 - ・現代法学研究科 若干名
- ②出願資格
 - ・入学時において、満52歳以上の大学を卒業した者もしくは学
士の資格を有する者
 - ・上記に準じる者で、各研究科委員会が認めた者
- ③出願書類
 - ・志願票・入学志願者調書・研究計画書
 - ・出身大学の学業成績証明書と卒業証明書
 - ・健康診断書・入学検定料



▲柔和な笑顔で看護の理想を話す八木さん

現実を、いつも感じていた。患者のベッ
ドサイドで、できるだけ長く患者の話
を聞いてあげたい。だが、管理者側から
は、仕事がのろい看護師とされてしま
う。よい看護がよい看護師としての評価
につながらないのが現実だ。

自分のしたい看護と、「訪問看護の事
業所」とは、八木さんのなかで、いつ
頃、結びついていったのだろうか。

「私、学歴コンプレックスがあって、
ずっと大学に行きたかったんですよ」

だが、夫を早くに亡くしていた八木さ
んは、子どもを育てあげるため、とにか
く働き続ける必要があった。

通信教育で大学生になるという道も
あるが、障害はスクーリングだった。卒
業するためには、スクーリングを受ける
ことが必須だが、どの大学も、平日行
われていた。仕事を休むことができない
ため、あきらめてきた八木さんだった。

そんなとき、日本福祉大学の通信教
育部に、福祉経営学部 医療・福祉マ